

## 3つの感触を順番に味わえる、部分用クリームに理想的な製剤を開発

### 3層エマルジョンで効果実感の高い感触を実現

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、部分用クリームとして理想的な「コク（濃密）感」「浸透感」「密着感」の3つの感触を全て併せ持ち、それぞれを順番に味わうことのできる効果実感に優れた製剤の開発に成功しました。通常では達成できなかった3段階の感触変化実現の秘密は、3層のエマルジョンをベースとし、内包する成分やエマルジョン構造に独自の工夫を加えたことにあります。この研究成果は、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラから今秋発売される化粧品への活用を予定しています。

#### 開発の背景

スキンケア化粧品は、肌を良い状態に保つ機能だけでなく、塗った時の満足感が求められます。特に、成分がたっぷり濃縮されているような「コク（濃密）感」や、肌にうるおいがいきわたるような「浸透感」は満足感につながります。

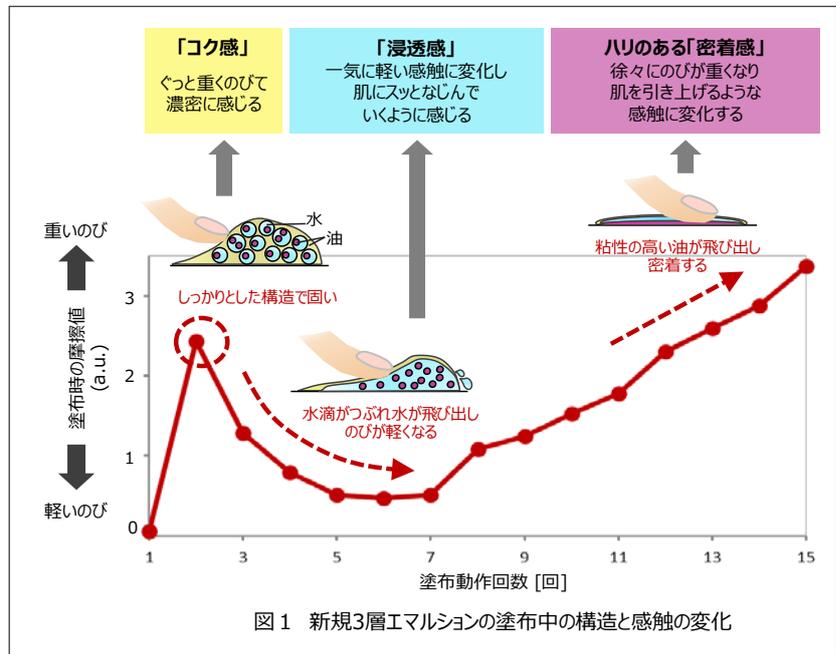
部分ケア用の製剤では、これら2つの感触に加えて「密着感」も求められます。しかし「密着感」を高めるとのびが重くなり浸透感が損なわれてしまうという問題がありました。そこで今回、「コク（濃密）感」「浸透感」に加え、塗り終わりの肌を引き上げるようなハリのある「密着感」にも優れたエマルジョンの実現を目指しました。

#### 段階的に異なる感触を感じることが出来る製剤を開発

通常のエマルジョンは水と油の2層構造で、塗布中の感触は単調に変化します。しかしこれでは3つの異なる感触をそれぞれ明確に実感することは困難でした。そこで、エマルジョンを3層とすることで3つの感触それぞれを順番に際立たせることにしました（図1）。

まず、水滴のつまった固めのクリームとすることで、塗り始めにその直後には2層目の水滴が一気につぶれ水が飛び出すため、みずみずしくのびスッと肌に浸透するように感じます。さらに、塗り終わりに肌に密着するように、粘性の高い油を水滴の内側に閉じ込め、最後に飛び出てくるよう設計しました。

塗布時の摩擦の強さを指標に感触を数値評価したところ、実際に「コク感→浸透感→ハリのある密着感」と段階的に感触が変化し、目元などの部分用クリームとして理想の感触となっていることが確認できました。



#### 部分用クリームとしての高い効果実感を実現

今回の技術を搭載した新製剤を、20～40代の女性15名に使用してもらい、アンケート調査を行いました。その結果、約70%の方が「3つの感触を実感できる」と回答し、さらに約85%の方が「満足感が高い」と回答しました。これより、新製剤はコクがありながら肌にすつとなじみ、さらにびたっと密着するという効果実感の高い製剤であるといえます。